

皆殺しのバラッド メキシコ麻薬戦争の光と闇 (2013)

NARCO CULTURA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 アメリカ／メキシコ

色彩 Color

時間 103分

初公開日 2015/04/11

公開情報 ダゲレオ出版

【キャッチコピー】

“世界で一番危険な街” シウダー・ファレスを舞台に
メキシコ麻薬戦争の最前線に密着した戦慄のドキュメンタリー!!

【解説】

報道カメラマンとして活躍するシャウル・シュワルツが初の映画監督に挑戦し、メキシコで激化する麻薬戦争の実態を危険な最前線での取材を通して描き出した衝撃のドキュメンタリー。年間3000件を越す殺人事件が発生する“世界で最も危険な街”シウダー・ファレスで、死と隣り合わせの捜査を地道に続ける地元警察官リチ・ソト。しかし、現実にはメキシコ国内で最も力を持っているのは麻薬密輸カルテルで、警察や軍も買収されているため、ほとんどの殺人事件は捜査さえされずに放置されている。一方でそんな麻薬カルテルのボスたちを英雄と称える音楽がメキシコとアメリカの若者の間で支持を集め、“ナルコ・コリード”というジャンルとして確立している。歌手のエドガー・キンテロは、このナルコ・コリード人気に乗かって成功を手にしようと野心を燃やすアメリカの青年。本作は、そんなメキシコ麻薬戦争を巡る狂気の世界に身を置きながらも、対照的な人生を送る2人の男に密着、現在のメキシコが抱える問題の複雑さと深い闇を明らかにしていく。

【クレジット】

監督 シャウル・シュワルツ Shaul Schwarz

製作 ラース・クヌードセン Lars Knudsen

ジェイ・ヴァン・ホイ Jay Van Hoy

トッド・ハゴピアン Todd Hagopian

撮影 シャウル・シュワルツ Shaul Schwarz